

農業会議だより

第8号(平成29年7月)発行：一般社団法人佐賀県農業会議

1. 専務理事(兼事務局長)就任あいさつ
2. 一般社団法人佐賀県農業会議第2回通常総会・会長会議を開催
3. 平成29年度全国農業委員会会長大会及び要請活動
4. 遊休農地対策(農地の利用状況調査・意向調査の確実な実施)
5. 神崎市における農地利用の最適化の取り組み事例
6. 農業簿記講習会受講者の募集(ご案内)
7. 農業者年金の加入推進
8. 農業新聞の普及推進
9. 常設審議委員会の結果(6月)、行事予定

1. 専務理事(兼事務局長)就任あいさつ



専務理事 古賀由紹

6月15日に開催された第2回通常総会、その後の臨時理事会等において、一般社団法人佐賀県農業会議の専務理事に選任いただきました。

「農業委員会等に関する法律」や「農地法」などの改正により、農業委員会組織が大きく変貌する中での就任であり、その重責に緊張しているというのが実感ですが、坂井会長を中心に事務局職員が一体となって頑張っていきたいと思っています。

ところで、改正農業委員会法が平成28年4月1日に施行され、これを踏まえ、各農業委員会においては、順次、新たな体制への移行に取り組まれています。

県内の農業委員会においては、平成28年度中に3市町(神崎市、吉野ヶ里町、鹿島市)が移行し、平成29年度当初に1市(唐津市)、さらに、7月中には12市町が移行されます。残り4市町では平成30年度中の移行に向け検討を進めていただいているところです。

今回の法改正は、国において、強い農林水産業と美しく活力ある農山漁村の創造を目指す「農林水産業・地域の活力創造プラン」の中で盛り込まれたものですが、特に、農業委員会組織における「農地利用の最適化」の取り組みの強化が求められています。

こうした中、県農業会議は、知事から「農業委員会ネットワーク機構」の指定をいただいております、農業委員会相互の連絡調整や研修会の開催など「農業委員会での取り組みを支援する業務」に取り組んでいます。

こうした取り組みをはじめ、農業者年金制度の推進や耕作放棄地対策、担い手支援など、農業会議が担う幅広い業務の的確な執行などにより、全体として、「佐賀県『食』と『農』振興計画2015」が目指す「農業の担い手が夢と希望を持って働き、稼げる農業を実践している。また、人の交流が盛んで、魅力あふれる農村になっている」に寄与することを願っています。

これらの取り組みに当たっては、農業委員会はもとより、県、市町、関係団体等との連携が極めて重要であると認識しています。関係者の皆様方には、引き続き、ご支援、ご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。

2. 一般社団法人佐賀県農業会議第2回通常総会を開催

平成29年6月15日、一般社団法人佐賀県農業会議第2回通常総会を佐賀市「グランデはがくれ」で開催しました。第1号議案から第6号議案まで全議案を承認いただきました。総会で理事が選任され、総会後の臨時理事会で新しく古賀専務理事が選任されました。

第2回通常総会議案

第1号議案	定款の変更について
第2号議案	平成28年度事業報告及び貸借対照表並びに損益計算書の承認について
第3号議案	平成28年度特別会計収支決算の承認について
第4号議案	理事の選任について
第5号議案	役員等の報酬の額について
第6号議案	平成29年度の会費について

臨時理事会での承認事項

元専務理事	新専務理事
實松孝明氏	こが よしつぐ 古賀由紹氏

一般社団化して2年目となり、優良農地の確保・活用に加え、新たに農地法で義務づけられた農地利用の最適化の推進について各市町で確実に実施していくため、県および関係機関・団体等と連携を深め推進していきたいと考えています。

また、総会・臨時理事会終了後に市町農業委員会会長会議を行い、新制度へ移行するに当たっての選考委員会の設置状況や課題等について意見交換を実施しました。

3. 全国農業委員会会長大会が開催

「農地利用の最適化業務の強化に向けて」をテーマに、5月29日、全国農業委員会会長大会が東京都「文京シビックホール」で開催され、本県農業委員会会長ら20名が参加しました。

大会では、農業・農村の持続的発展と競争力強化に向けた政策提案など第1号議案から第4号議案が決議され、その後、農業委員会活動の実践報告がありました。その中で特に茨城県桜川市農業委員会からの報告では、新体制になってからわずか1年足らずで、農地利用最適化推進委員が区域内のほとんど全ての農家を戸別訪問し、農地集積に結びつけた事例など地道に活動した結果が農地利用の最適化につながったと報告されました。また、岐阜県山県市農業委員会では改選前は女性農業委員がいなかったが、関係機関へ要請した結果、3名の女性農業委員と2名の女性の推進委員が誕生したことを報告されました。

大会終了後、参加者を2班に分けて県選出国會議員へ要請活動を実施しました。参加した農業委員会会長からは中山間地に対しての支援や農村現場の実態を捉えたうえでの施策を強く要請されました。



4. 遊休農地対策の確実な実施を!!

(1)平成28年4月施行の農業委員会法改正により、農業委員会の業務として、農地利用の最適化の推進が必須業務として明確に位置づけられました。



農業委員
農地利用最適化推進委員
の役割

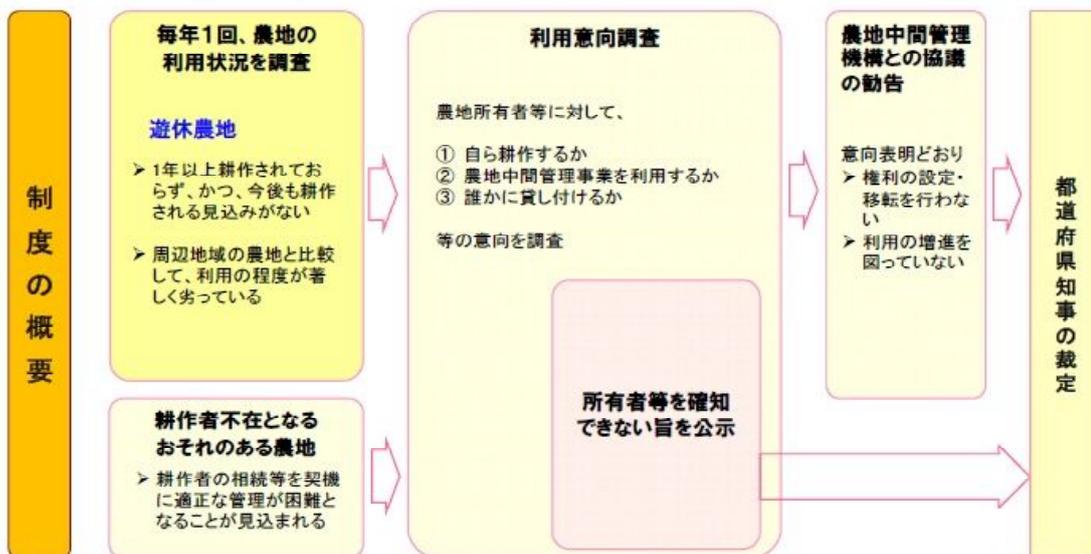
- ①農地の利用集積・集約化
- ②遊休農地の発生防止・解消
- ③新規参入の促進

(2)利用状況調査・利用意向調査の確実な実施（農地法に規定）

- ①利用状況調査（農地パトロール）
8月・・・管内の全農地の利用状況を調査
- ②利用意向調査
11月・・・利用状況調査（農地パトロール）を踏まえ、遊休農地の所有者に利用意向をきく

農地法に基づく遊休農地に関する措置の概要

- 農業委員会が毎年1回、農地の利用状況を調査し、遊休農地の所有者等に対する意向調査を実施。
- 意向どおり取組を行わない場合、農業委員会は、農地中間管理機構との協議を勧告し、最終的に都道府県知事の裁定により、同機構が農地中間管理権を取得できるよう措置。
- 所有者が分からない遊休農地（共有地の場合は過半の持分を有する者が確知することができない場合）については、公示手続で対応。



5. 神崎市における農地利用の最適化の取り組み

(1) 神崎市(地区)の特徴・課題等

神崎市は中南部の平地農業地域と北部の中山間地域があり、地域によって農地の利用状況や営農類型が異なるため、地域の実態に応じた取り組みを推進し、それに向けた対策の強化を図ることが求められている。

特に中山間地域では基盤整備未実施の区画・形状の悪い圃場や山沿いの畑地等が多く、遊休農地の発生が懸念されていることから、その発生防止や解消、適切な土地利用について佐賀県や神崎市農政水産課等と協議して集落営農組織の推進と国県事業の活用等に努めていく。一方、平地では土地利用型の稲作等が盛んなことから、集落営農組織の法人化の推進や地域の担い手への農地利用の集積・集約化に向け、関係機関と連携して農地中間管理事業等を活用した取り組みが必要である。

(2) 課題解決に向けた農業委員会の活動

～農地利用の最適化の推進に向けた取り組みと工夫～

① 農地パトロールの実施

農業委員 13 人と地区担当の農地利用最適化推進委員 20 人が共に協力して農地利用の最適化の推進に向けて取り組むことを明確にするため、市内を 13 の活動班に分けて委員等の共同活動を推進し、最適化推進活動の計画的な取り組みと活動内容の充実、委員等及び事務局の現地状況等の情報の共有を図る。



- ・活動班により定期的かつ計画的な農地パトロールを実施する。
- ・農地利用状況調査による遊休農地の情報共有と活動班による解消等推進活動に取り組む。

② 定期的な検討会・合同会議の開催

農業委員・推進委員と事務局の資質の向上と、農地利用の最適化に向けた取り組みのさらなる推進委員等の活動状況の記録・取りまとめ、活動計画の検討や実施内容等を協議する話し合いの場として、定期的に委員合同会議を開催する（5、7、9、11、2、3月）。



- ・農地利用最適化推進委員の代表者等を設けて合同会議の計画、委員会活動の検討等を農業委員会会長と協議して委員同士の連携強化を図る。

(3) 活動(取り組みと工夫)の結果

- ・担い手への集積面積（集積率）は年度末時点で、2,830ha（89.5％）から、2,662ha（85.1％）となった（過年度の調査では集積面積を過剰に計上していたことが判明した）。
- ・遊休農地面積（遊休農地率）が、64.8ha（2.0％）から、58.4ha（1.82％）となった（農地管理の再開や過年度の遊休農地判定の見直し及び荒廃農地化の進行を含む）。

6. 農業簿記講習会を開催します

農業経営の確立・発展のためには、経営を的確に把握・分析することができる複式簿記が有効です。また、平成31年産からの導入が予定されている収入保険制度については青色申告が要件とされており、青色申告を始めるにあたって複式簿記に取り組むことで、よりメリットが大きくなります。

そこで、地域農業の担い手等を対象に、平成29年7月27日(木)～8月29日(火)のうち計5日間、佐賀市アバンセにて複式簿記の基礎を内容とした講習会を開催します。

認定農業者の方や記帳方法を見直したい方等に、是非お声掛けください。

平成29年度 農業簿記講習会

受講料
無料

複式簿記をマスターして
農業経営力をレベルアップ!!

複式簿記の基礎を学び、パソコンを使った記帳に
挑戦しませんか？

- 対象者 地域農業の担い手である認定農業者等
記帳方法を見直したい方等 先着20名程度

- 会場 どんどんの森「アバンセ」
(佐賀市天神3-2-11)

- 講習会カリキュラム 全5回(座学講習会1回、パソコン活用講習会4回)



回	開催日	時間	講義内容		
			座学	複式簿記を学ぼう	複式簿記の基本 記帳開始時の演習
1	7月27日(木)	13:30 ～ 16:00	パソコン講座	パソコンで 記帳しよう	開始貸借対照表の作成 仕訳演習等
2	8月3日(木)				
3	8月10日(木)				
4	8月22日(火)				
5	8月29日(火)				決算・申告

☆7月14日(金)締切、お申し込みは農業委員会へ!!

7. 農業者年金の加入推進について

7月～8月は前期加入強化月間

目標達成に向けた取り組みのポイント

- ・加入対象者名簿を活用していますか？ 対象者への声かけや戸別訪問に活かしてください。
- ・農業委員・農地利用最適化推進委員・JAの役職員等の連携による、加入推進班での戸別訪問が効果的です。
- ・対象者が集まる集会等で制度を周知しましょう。

田植え後は戸別訪問の好機です

農業者の老後生活の安定のため、国民年金の上乗せである農業者年金の加入推進をお願いします!!

○ 農業者年金加入実績・目標 ○

(単位：人)

市町名	29年度			達成率 (%)	残り 確保数
	目標	4月	5月		
佐賀市	10※	1	0	10	9
神埼市	1	0	0	0	1
吉野ヶ里町	1	0	0	0	1
鳥栖市	1	1	0	100	0
基山町	1	0	0	0	1
上峰町	1	0	0	0	1
みやき町	1	0	0	0	1
多久市	2	0	0	0	2
小城市	4	0	0	0	4
唐津市	11※	4	0	36	7
玄海町	2	0	0	0	2
伊万里市	6	0	0	0	6
有田町	1※	0	0	0	1
武雄市	3	0	1	33	2
大町町	1	0	0	0	1
江北町	1※	0	0	0	1
白石町	6	0	1	17	5
鹿島市	3※	0	0	0	3
嬉野市	4	0	0	0	4
太良町	3	0	2	67	1
合計	63	6	4	16	53

...自主目標設定市町



8. 全国農業新聞の普及・推進について

普及推進のお願い

- (1)「農業委員・推進委員1人・1年・1部純増」運動を確実に実施
- (2)毎月の定例農業委員会で普及状況・目標達成状況を確認
- (3)戸別訪問や畦ばた会議、日常の相談活動等で普及推進

◇ 平成29年度普及状況 ◇

(単位：部)

市町名	農業委員等数	28年度末実績	平成29年度				29年度目標	目標達成必要部数
			6月	7月		部数		
				申込	中止			
佐賀市	45	230	219	1	4	216	262	41
神埼市	33	78	76	1	1	76	103	22
吉野ヶ里町	19	57	51	0	0	51	67	17
鳥栖市	22	32	32	0	0	32	46	13
基山町	13	20	20	0	0	20	25	8
上峰町	10	18	18	0	0	18	22	6
みやき町	24	31	31	0	1	30	42	15
多久市	16	63	62	0	9	53	72	19
小城市	27	97	94	0	0	94	111	19
唐津市	53	193	190	2	3	189	211	35
玄海町	13	43	41	0	0	41	55	10
伊万里市	23	81	77	2	0	79	95	16
有田町	14	30	29	1	1	28	33	9
武雄市	37	93	91	0	2	89	113	26
大町町	10	24	22	1	2	21	29	9
江北町	13	65	59	0	3	56	78	17
白石町	37	71	68	0	1	67	88	26
鹿島市	31	57	56	0	0	56	82	19
嬉野市	25	75	73	0	3	70	92	20
太良町	14	37	37	0	0	37	40	8
農業会議	-	121	108	4	2	110	134	-
合計	479	1,516	1,454	12	32	1,434	1,800	366

農業者への情報提供は農業委員・推進委員の役割
農業委員会法第6条第3項第2号



9. 常設審議委員会結果（H29年6月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議しました。第15回の件数及び面積については以下のとおりです。

<農地法関係処理状況>

許可権者別件数及び農地区分別件数

回数	開催日	区分	件数 (30a超)	権限移譲		知事許可
				佐賀市	みやき町	
第15回	6月15日	第4条	0	0	0	0
		第5条	8(4)	0	0	8(4)

田畑別件数及び面積

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第15回	6月15日	第4条	-	-	-	-	-	-
		第5条	6	28,484	3	4,971	8	33,455

10. 今後の行事予定

月	日	時間	場 所	内 容
7	12	13:30	アバンセ	市町農業委員会職員研修会
	14	13:30	伊万里市民センター	東西松浦地区農業委員会職員研修会
	18	13:30	グランデ はがくれ	第16回常設審議委員会
	25	13:30	有明スカパー ふれあい郷	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会
	27	13:30	アバンセ	第1回農業簿記講習会
8	3	13:30	アバンセ	第2回農業簿記講習会
	10	13:30	アバンセ	第3回農業簿記講習会
	17	13:30	佐賀総合庁舎	第17回常設審議委員会
	22	13:30	アバンセ	第4回農業簿記講習会
	29	13:30	アバンセ	第5回農業簿記講習会